

能楽師が案内する 横浜能楽堂見学と能楽ワークショップ

横浜市の有形文化財になっている横浜能楽堂の本舞台。「近所にあるけれど行ったことがない」、「興味があるけれど敷居が高い」、「能楽がどんなものか全然分からないけれど日本の伝統に触れてみたい」、そんな方々にぴったりのひとときです。
能楽師のシテ方、狂言方がそれぞれの視点からご案内をいたします。

日時：令和2年1月17日（金）

① 10:00～12:00

② 19:00～21:00

（各開始時間の30分前より受付）

案内役：

山本則秀（狂言方大蔵流）

内容：

狂言の体験ワークショップと
山本則秀による能舞台案内

日時：令和2年2月1日（土）

① 10:00～12:00

② 19:00～21:00

（各開始時間の30分前より受付）

案内役：

梅若紀彰（シテ方観世流）

内容：

能の体験ワークショップと
梅若紀彰による能舞台案内

■参加費：各回2,000円

■定員：各回20名

■会場：横浜能楽堂

■持ち物：白足袋 ※お忘れの場合は2,300円(税込)で販売あり

■申込方法：電話または来館で、

令和1年11月5日(火)正午より、
先着順に受付(初日は電話のみ)

主催・申込先：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

電話：045-263-3055 住所：横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

※応募者が10名に満たないワークショップは開催しない場合がございます。

※一度お支払いいただきました参加費は返金いたしませんので、ご了承ください。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会



案内役 メッセージとプロフィール

昔から能は観ることも楽しいが、自分で謡い舞うことはそれ以上に楽しいとよくいられています。実際に戦国大名の三英傑、織田信長や豊臣秀吉、徳川家康も能に親しんでいたというエピソードは数多くあります。

そんな昔の話を持ち出さなくても、現在、能のお稽古は誰でも手軽に始められますし、気軽に能楽堂で能の鑑賞も楽しんでいただけます。

今回のワークショップでは能の簡単な所作を体験後、歴史ある能舞台を見学していただきながら、初めての方でも能に親しんでいただけるよう、ご案内します。



梅若 紀彰(うめわか きしょう)

シテ方観世流。1956年、室町時代からの歴史を誇る観世流の名門・梅若六郎家の五十五世梅若六郎の孫として生を受ける。祖父ならびに四世梅若実に師事。四歳で初舞台。近年は「姨捨」など能の大曲を演じ、高い評価を得る。山口情報芸術センター10周年記念祭で坂本龍一と共演、2019年10月7日～15日まで、パリ・オペラ座ガルニエ宮の“鷹の井戸”に出演。2010年、晋矢改メ二世梅若紀彰を襲名。折り目正しい芸風に、天性の華やかさを持ち合わせる。

重要無形文化財総合指定保持者。

皆さまは「狂言」と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

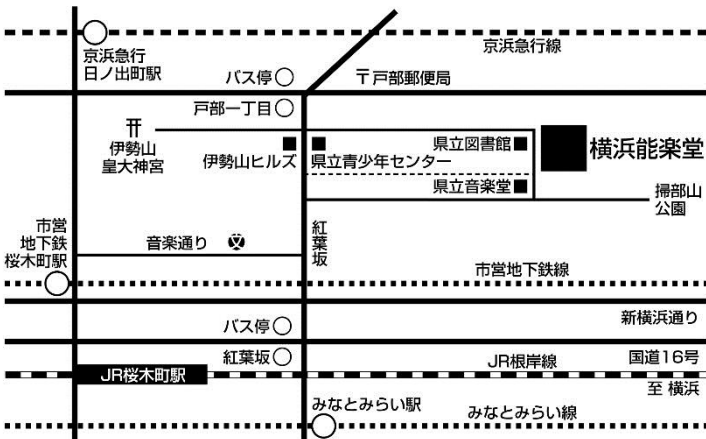
「喜劇?」「敷居が高い?」さまざまなイメージをお持ちかと思います。狂言は難しそうに見える古典芸能ですが、登場人物はうっかり者、見栄っ張り、恥ずかしがり屋さんなど、身近にいそうなキャラクターばかりで、現代にも通じるような、人間の愚かしい部分を描いています。今回は、実際に舞台上がったり、舞台裏をご覧いただいたりしながら、狂言が初めての方も、より深く狂言をお楽しみいただきたいと思います。皆さまのお越しをお待ち申しあげております。



山本 則秀(やまもと のりひで)

狂言方大蔵流。1979年、東京出身。四歳より父・山本則俊（狂言方大蔵流・重要無形文化財総合指定保持者）及び伯父・山本東次郎（狂言方大蔵流・人間国宝）に師事。五歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。大曲秘曲を披き、現在能楽師として活動中。日々の能楽公演のほか海外公演、学校普及公演、東日本大震災の際には復興公演に参加。幅広い活動を行う。

公益社団法人能楽協会会員。



JR根岸線「桜木町」下車北改札・西口徒歩15分
市営地下鉄線「桜木町」下車南1出口徒歩15分
みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分
京浜急行「日ノ出町」下車徒歩18分



横浜能楽堂

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

☎ 045-263-3055

施設点検日(休館日)

11月11日(月)、11月18日(月)、12月9日(月)、12月16日(月)、
12月29日(日)～1月3日(金)、1月20日(月)、1月27日(月)